

へ遠13
1892
1-4

大
天
可
二

福

福

竹^{リヨ}影^フ閉^井谷^カ房^日
 呂^{リヨ}不^フ耳^井日^カ水^カ者^カ性^カ法^カ者^カ九^カ
 以^ミ之^タ土^スと^ノ以^ミ者^タ是^ノ哉^カ
 相^ミ親^タ那^ノる^ル或^シ笑^フ深^シ山^ノ乃^シ民^ト
 以^ミ終^ル手^ヲ以^テ其^ノ父^ト也^{ナリ}轉^ル
 又^モ也^{ナリ}之^ノ市^ノ中^ニ也^{ナリ}其^ノ者^ハ六^ノ教^ノ

東寺町
三條上

福

入資為書
朱之用

名上所
系

キ

は

さつきとと生招と語ミヤウ子 カタル
耳目モク所トコロ于堵良ドと集ル
哉カナ飲ノ吸スの三教キヤウは道哉
初ハジメとぎと心ココロを杜撰チュゼンなるを飲
ふ三女ミメ生ナじ那ナ——ノ囉ラ破ハ
とちふが可カ好コるん乎ナ。各道ナ不
能ナひしつと味アジを法ホウくは

今哉イマ眩クワン——ノ先マ物モノ心ココロて自ミ樂ラク
之コト棄クハるル能シは是コト哉ナ物モノ
るのあつらひに。何ナニも出デずナあめ
昔ムカシたのん然シカん乎ナ。安ヤス有リ赤セキ縣ケン
とら今イマ能シは各ナ道ナの不フ合カフ不フ通ツ
ト人ヒトや傳ツるル同ドウ答コタヘを述ツる
名ナ所トコロのあふは妹イモ嬉キが胸ムネ撫ナ

を^{アサムカ}も^{ニシタ}敷^ハく^ハ然^カる^カの^カ見^カを^カ
以^シて^シ袂^カ火^カを^カ和^カく^カも^カ秘^カ書^カ者^カ
乃^チ急^カ哉^カ知^カる^カど^カて^カ六^カ形^カの^カま^カの^カ
智^カく^カを^カ函^カど^カま^カ書^カの^カ
徳^カ乎^カ夫^カ以^カ書^カの^カ徳^カ乎^カ秘^カ
戒^カは^カハ^カ書^カの^カ今^カの^カ者^カ
と^カ悟^カ深^カく^カる^カ赤^カき^カ者^カ

は^カ者^カと^カと^カ赤^カく^カる^カ深^カく^カる^カ
人^カは^カあ^カ故^カ不^カ赤^カ縣^カ
や^カ人^カそ^カく^カ不^カ強^カ戒^カ曰^カ紙^カ
泥^カ唯^カ泥^カ耳^カ

寶曆五とて書出

柳坡 北窓智虎狼



花菖蒲待乳問答目録

卷之一

富長大出せし事



月城所と書出の事

富長浅草小通

大倉初と花街小通

吉原の四季入段

卷之二

破利埵トヨリイ多チ知チ及ク色シ被レ議シ之事

日本ニ夫レ婦ヲト申ス之事

惡シのさ白クを古ニ今ニ替ル之事

邪ト嬖ニ戒ル之事

地ノを持て女島城を治す

卷之三

吉原ノ起ル源ノ附リ女島小ノ藝ヲわす事

江ノ神ノ海ノ解ル之事

昔ノ古ノ位ニ也ト抱キ女ノ愛ス之事

知ル道ノ邪ト帝ノ買ハ之事

卷之四

得ル乳ノ常ノ好ク唐ノ之事

姐ノ已ミ衰ハ姦ト傾キ城ノ事

逸口女帝賞に折伏さるる
澄湖の孝延の身が舞はる

卷之五

頃城無間の種乃に後知證る事

孟宗五眼至孝家ののり

子役も夫実を一政の事

聖徳和交志く繁昌れる

花菖蒲待乳問答卷之一

東都 柳堤居 皆阿撰

富長大魚出世の事

或大福長者の曰人をよゆけ哉

さしとわくをいふゆゑに法をば

々をゆきおのりて繁しくしそは

生れ甲斐からし富家の三人と



不徳ははつんとおろも。より
 かしくせん。そのおろと修訂す
 魚一。其こ。後。つ。他。の。こ。と
 にあらば。人。間。の。お。り。の。お
 住し。か。り。の。も。せ。た。と。知。ん
 新。し。か。り。は。是。の。月。の。こ
 次。の。為。事。の。月。は。あ。ら。べ。く。す。

人の世より。自化は。は。ま。く。所。致
 其。量。あり。欲。は。強。く。志。強。く。も
 少。お。も。る。が。百。万。の。成。あり。と。も
 志。む。く。を。恒。に。守。り。し。所。致
 を。や。む。は。お。一。戦。は。は。ら。り。あ。り
 か。ぎ。り。あ。ら。成。り。を。ら。さ。く。ぎ。を
 な。き。孫。の。い。よ。志。く。ぶ。り。の。べ。く。あ。

諸君もすき申來事あはれ
 成か治はあなれ惡念きりり
 かきく情みをもれてあこし
 要ちもち申毎ううに決は
 奴のぶとくしてはくひも
 揚と志くむ永く實告成ま
 孰れううに君のこく神

如くをそれきみくあさぐ
 事なる鏡にけし源も
 こそ母いううむ家半あ
 次了正直みく物成さく
 然し正義成まほつて利
 めん人を富みのけもるし
 かさる孰りけきもれ

待し問答

六二二

〇二

不志^しこ^らぶ^らぐ^らごと^くか^らぬ^ら—^一 残
 け^もり^まは^まさ^が保^はを^を宴^{えん}飲^{かん}聲^{こゑ}
 交^まは^まさ^して^は君^{きみ}新^{あらた}に^もか^さぎ^しは
 取^とれ^しを^もさ^まれ^ども^もお^く後^ごと^こう^か
 屋^や—^一 屋^やを^もく^もあ^らし^し—^一 と^か—^しき
 抑^{おさ}人^{ひと}は^も取^とれ^し成^なせ^んが^もあ^らし^し也^{なり}
 取^とれ^しも^もお^く後^ごと^こう^かと^もは^まさ^して^は取^とれ^し事^{こと}を^も取^とれ^し

い^はら^うあ^らぶ^ら保^たが^あら^しし^し新^{あらた}に^もあ^らし^し也^{なり}
 か^らぬ^ら—^一 全^まく^も契^{くわい}を^もと^もか^らし^し何^{なに}れ^{なり}
 唯^{ただ}人^{ひと}留^{とど}め^られ^しと^もあ^らし^し也^{なり}
 う^らぬ^ら—^一 保^たを^もあ^らし^しと^もあ^らし^し也^{なり}
 那^{なに}—^一 留^{とど}め^られ^しの^の—^一 み^みと^とあ^らし^し也^{なり}

待字問答

卷之一

〇三

志^らり^ど病^びあ^らん^んよ^い癰^{おん}疽^じ病^び
 む^せ者^し水^み小^こあ^らい^い多^た多^た病^びい^いと
 せん^のり^を病^やざ^んん^よは^し志^らじ
 病^びに^あり^てを^を貧^{ひん}富^ふく^と病^び
 病^び一^く寃^き竟^きの^り理^り即^くお^ひと^と犬^{いぬ}欲^{よく}
 身^みを^を欲^{よく}し^めり^とは^しき^く草^{くさ}に
 毛^けか^れし^ま病^びを^を沃^く山^{さん}小^こも^も

け^け多^た中^{ちゆう}の^のま^まふ^ふ病^びく^く病^びを^を
 志^しく^たの^のむ^むと^と病^びは^はき^きり^りと^と
 う^う山^{さん}一^いき^きと^と病^び病^び今^{いま}の^の病^び
 か^か一^い病^び草^{そう}利^り病^びか^か病^びを^を記^き
 富^と長^{ちやう}と^と病^び大^{だい}病^び病^び人^{にん}尾^び病^び町^{ちやう}
 の^の病^び一^いて^て病^びと^と病^び一^い病^び病^び子^こ
 病^び一^い病^び病^び乃^の病^び病^び病^び病^び

高よりみきき善利すきき高
 及自然と覺く世利すきき
 こきき一年之の比本町すお
 びきき影しき店出し
 といの虫眼簾丸のゆふ富といふ
 古文書知ありしと表のしけ
 看板す。呉振物現金かけ紙か

大安賣富田屋長太助と賣出
 一きき和ふ町方よりおきよむ
 凡日本國中に諸侯大夫諸卿
 屋福にぞ入をんといふ
 世おききゆふ織物の類きき
 唐物よ蜀江の流廣東に金銀
 福建の鎖絹浙江入五絲雲南

寺山明各

天

六



火浣布・東京の天鵝絨・莫卧再織
 閃緞・八絲・柳條・綾子・紗綾・縐紗・紅
 毛の猩々・緋羅紗・羅背板・朝鮮毛氈
 琉球の芭蕉布・暹羅染・南京木綿
 一方・其外・中和・勿論・外
 外夷・深藏・和物・ハ
 之・ル・ヤ・ミ・ラ・ビ・國・之・所・の・名・也

越前・小笠原・く・積・阿・げ・ハ・室・の
 山・と・母・い・川・、
 列・在・私・さ・び・不・疑・の・下・知・み・志・さ・り
 い・秘・主・の・う・け・む・さ・油・新・か・く・新
 元・能・画・し・う・家・内・ふ・む・き・口・調・練・を
 之・の・買・人・知・鹿・け・ハ・げ・等・来
 能・雨・ア・チ・ラ・ボ・と・く・繁・昌・日・

尔さうん好金。或本富長はくく
 おりあや。功成久遠く身退く
 五。其ふら天路道ありき。其
 忠五印とそ。まごさちふあそ
 ぞも教よ。但利殺志そふ
 多。此譲王つ。そも力ま己甲子足
 らどして。爰は所居に樂そそ。

大此りき。帳とむらそく
 いもそ多ふん。そも。あそ
 け。此も。此。酒もぬ。海れ
 内。此。あ。相。あ。そ。此
 花。り。あ。あ。地。そ。此。あ。所
 樂人。此。福。一。業。人。此。此。あ。此
 度。の。此。あ。此。と。味。此。此。あ。

堀の船^ねは^いつ^もと^ま藝^{げい}人^{にん}あ^れば
よ^び何^のめ^あを^おり^し能^たく^もた
ゆ^でだ^らり^は音^がも^と能^およ^ぶ能^向
は^とあ^りせ^ば味^あじ^と不^ふ
幸^{さい}能^い味^あじ^とす^みも^と
く^りき^やし^て重^とり^し僅^わ
小^こ方^{かた}よ^りく^る日^ひ本^{ほん}堀^{ほり}は^り

く^れも^と進^{しん}門^{もん}口^{くち}と^も人^{にん}と^もて^なり^て
大^お堂^{どう}ら^いけ^しし^も所^{ところ}は^なり^し
及^{およ}び^も家^けの^ほど^も花^{はな}術^{じゆつ}候^{こう}り^し
委^い細^{さい}知^ちり^し。味^あじ^とも^と延^{えん}
ふ^もよ^ぶ中^{ちゆう}。能^いも^と元^{げん}晴^{せい}ふ^しも^と
數^{すう}の^い虞^よ氏^しが^は流^{りゅう}や^は抱^はく^が
琴^{きん}云^んふ^も同^{どう}と^も。幸^{さい}ふ^も今^{いま}日^ひ辛^{しん}也^{なり}

寺し門か
六十一

京城目の前にあはけりて。深景多
き。初めおろ。衣紋坂下り。子指官
路。まか。里。これぞ。老入の初學。将
逢。門口。み。鳴り。こめ。む。抜。然の。左。越
ども。茶屋。徳とも。ふ。か。む。い。ち。り
し。あ。へ。と。う。屋。な。く。種。く。乃。酒
青。美。坂。は。く。く。く。る。餐。食。ふ。大。煮

機。娘。う。か。く。く。く。息。益。漸。ゆ。き。め。く
強。む。い。ご。く。揚。屋。く。法。住。せん。は。あ。く
ゆ。き。と。き。く。む。ま。ま。む。大。煮。は。ゆ。り。く
茶。屋。に。出。り。た。ま。ぐ。る。抱。里。の
字。多。く。見。つ。く。を。ば。四。季。折。り。く。と
いちど。記。す。泳。め。ふ。あ。り。ぬ。を。海。境。
四季。吉。原。に。あ。り。き。ら。ぬ。文。子。の。好

待乳問答 卷之一 〇十一

燈籠の折こゝ増穂と人毎ふや
 あ〜どそれをもさ敷そのあまふ一きわ
 亦路も浮く川りのい裏れ音
 起あ〜ぞ何ゆん程上程抱き其
 ま〜に極あ〜べ〜る花の交うは望
 ふ希りぬふを垢よ。お梅深乃被
 毛着出るや〜子奥扉〜く。音の物

女帝は〜。き〜る母〜こ〜う河統。
 折〜を吹〜あ〜るゆ〜ふ〜〜〜〜
 薫り〜〜。ふ〜れゆ〜る〜ゆ〜さ
 如〜あ〜あ〜り〜〜〜〜。如〜
 こ〜うあ〜人〜の〜ゆ〜と〜あ〜〜〜。離〜
 浮〜〜〜。花〜〜〜。統〜
 い〜〜。音〜〜。里〜〜。〜〜。



ふづりひせくね、さゆぐらういふ
 手は純、晦日能取いとまゝに記す
 半ふるまはぐ、家毎すう口ふりあて
 何ものありありきん、さといふ
 志里のり、我さす、是とまゝにまゝ
 が何のはさぎごうり、記す、記と志
 まるし、こも、手のみ、記す、あはれ

ほうす、純、屋、大といふ、さ、案、前
 手、世、如、こ、と、ね、ら、ね、し、吉、系、げ、り、ね
 ま、ね、も、あ、さ、す、ぞ、あり、さ、ね、ね、み
 一、さ、さ、大、海、ふ、松、立、ま、さ、し、さ
 さ、あ、ま、し、の、聲、の、さ、ふ、虎、も
 に、ま、ま、さ、り、さ、す、ま、か、や、う、う、ね、ま、し
 る、さ、ぬ、め、ら、ね、げ、ね、ら、う、う、お、も

志存りぬ。智たくもに結梅を
びるるまは。古地仙境のおとくに
しる。老もやういもや如身と如
里く。ととく。苦界。我もや。然。劫略
能道。跡。之。多。然。も。節。事。の。来。
少。不。怖。し。き。氣。も。法。の。次。系。と
と。何。と。は。く。想。う。と。大。量。揚。

屋小入り。あ。ん。右。史。ん。姿。も。来。修。
何。り。香。淨。室。う。ら。ち。能。氣。も。如。
之。多。紅。顔。と。如。少。氣。種。い。と。え。ん。い。
片。倍。妙。あ。し。眉。如。間。お。月。出。て。
夜。如。あ。し。と。あ。り。と。と。う。う。の。頬。の上。
小。華。ひ。し。き。多。ま。ま。は。關。お。何。し。り。
髪。も。如。の。髪。如。款。き。如。若。め。う。し。お。い。

翠翹金雀珠の搔頭あり。羅綺の
 くるまの續終と申ふ。いづれ丹青
 擘擘といふ。どりかぶる。裾の申ふ。欄
 麝成ちり。細腰とほり。記うら。
 婀娜多き。ありにあき。笑ふ。臉多特
 ふ。いぢむ。ふ宜し。多き。名成り。く
 くる。めし。福狂。姿質。成見。く。ら。

精神せいしん又小まほい。心肝しんかん恰あやも摧くだめん
 とん。天あまの上のあも。あうい。水みづく。人よめ間まよ
 ね。五ご海うみく。波なみと。ま。見みと。終はつく
 へ。月つきふ。成なりり。ま。げ。中なかつ海うみ者もの曲まがり
 へ。ひ。起たた。大おほ直な。虚うつら。有あふ。い。あ。成
 ち。ち。き。座ざ中ちゆう。欽きん。花はなの。い。花はなを
 ま。い。と。月つき成なり。美み質しつ。ふ。園いん。饒にぎはち。を。終はつ。

機^キ嫌^{ケン}上の樂^{ラク}。情^{ジョウ}妃^ヒ交^{カウ}解^ゲ結^{ケツ}榮^{エイ}
花^カとる^ト存^{ゾン}ふ入^ニく^クの^ノ心^{シン}と^ト解^ゲん^ンと。
欽^{キン}樂^{ラク}一^{イチ}に^ニ極^{キョク}ま^マり

花^カ草^{ソウ}蒲^フ新^{シン}乳^ニ洞^{ドウ}卷^{クワン}卷^{クワン}之^ノ一^{イチ}終^{シュウ}

うら

